

# 止めて!! 苦田ダムの ムダな水

水道会計の収支は悪化し続けています。苦田ダムからの受水費が会計を圧迫しています。人口減と節水で水の消費が減っていますが、年間23億円の受水費はずっと変わっていません。10万トンの枠を減らさないからです。苦田ダム第2期工事を行います。

えはさらに負担は増えます。苦田ダムのムダがある限り、水道料金値上げになりかねません。党市議団は、水は市の独自水源でまかなえろとし、苦田ダムからの受水をやめ、第2期工事は行わないことを提案しています。

## 新劇場

# 使いやすい 使用料にすべき

市は、芸術創造劇場の設備使用料の考え方を示しました。非営利目的でも市民会館、市民文化ホールは4・9倍になる設備があります。「営利」目的の場合にはさらにその2倍になります。物品販売も対象になりえます。セット割引は検討中で、値上がり幅によってはこれまで通りの使用ができなくなっています。

### 値上げ率が大きくなる例

施設器具	非営利目的(円)*	市民会館からの値上げ倍率	市民文化ホールからの値上げ倍率
音響反射板	11,300	2.4	2.7
平台	300	2.0	2.0
仮設花道	9,000	2.1	2.1
屏風	3,600	4.9	4.9
調光装置	13,800	2.9	2.9

\*営利目的の場合はこの2倍になる



来年度予算への要求書提出。20年以上市長対応だったので今回は副市長が対応(11/15)

大森市長3期目がスタート。所信表明では「よりいっそう皆様に寄り添い、真心を持って取り組む、初心忘るべからずを胸に様々な声に耳を傾け謙虚に」と表明。しかし、党市議団や対抗馬を支援した自民党市議団に対しては、市長を指名して所見を求めてもほとんど答弁に立ちませんでした。選挙結果を見ると大森市長に投票したのは全有権者の2割程度です。自分を支持しない人も含め様々な声に耳を傾ける姿勢が必要です。

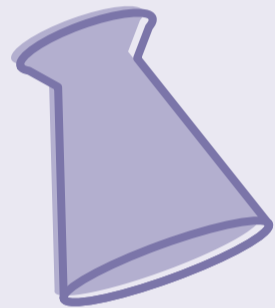
# 介護の負担増 終のすみか 追われる 高齢者

昨年8月に介護保険制度の補給給付の基準が改悪されました。預貯金条件の改悪では、全国で施設入所者の4割の方が補給給付の対象から外され、月2万2千円もの負担増になっています。食費の負担限度額を決める所得条件の改悪では、年金などの収入は変わらないのに負担上限が引き上げられ、市内のある特養では月7万円近くも負担の増える人がいます。やむなく、施設の持ち出しになる軽減制度の申請や、多床室のある施設に移動を希望する人がいます。終のすみかを追われる負担増です。

市は国の制度だから何もできないとの姿勢ですが、党市議団は市独自の支援や国からの税金投入を求めることなど、市としてできることに取り組むよう求めています。

### 市内の施設での負担増の実態

	ひとつきの負担増	特養A(120床)	小規模特養B(29床)
預貯金条件の改悪で	2.2万円	11人	5人
収入条件の改悪で	6万円	1人	0人
	4万円	10人	5人
	2.1万円	24人	8人

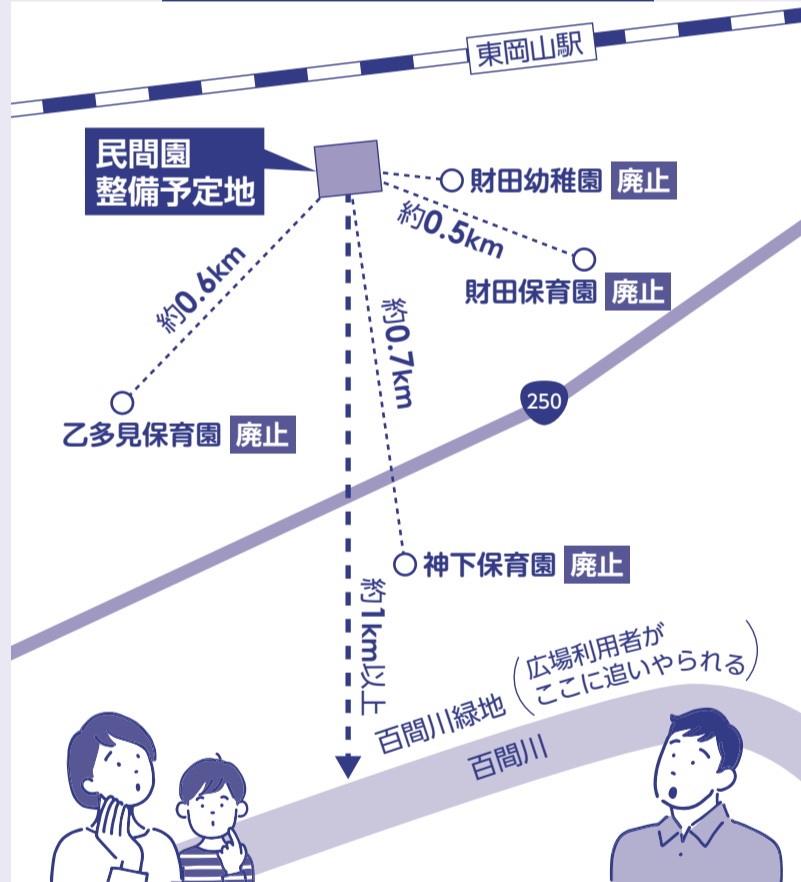


# 地域の 市立園を守れ

市は、中区財田地域の市立3保育園と1幼稚園を廃止して定員320人の私立認定こども園を作るとして、2024年4月開園で民間事業者を募集し、廃止・民営化を強行しようとしています。市有地である財田スポーツ広場の多目的広場をなくして用地にする計画です。代替案は国道を越えて1キロ以上離れた川原です。

市は、一部の地域関係者や広場利用団体の代表に説明しただけで、保護者や広場利用者全体に対しては説明会など聞いていません。定員の平均は、既存の市立保育園の92人に対して、統合で作られた市立認定こども園は平均211人、最大は320人にもなります。園の大規模化は、きめ細かな保育に逆行します。大規模な認定こども園への集約ではなく、適正規模を考えた地域の市立園を守っていくべきです。

### 4園を廃止して1民間園に



### 編集後記 Editorial note

市長選後の初議会では、選挙の流れを引きずって自民党派が2から3になり、「市民派」の会派は分裂。46市議のうち30人以上が参加した市長を応援する議員の会の中からは、今回、市民の本会議の動画撮影を禁止しようという声が出ました。また、市長が提案した議案をそのまま通すのが役割と主張して審議時間の短縮を画策する動きまであります。議会の透明性や公開性を揺るがし、議論を尽くす議会本来の役割を自ら否定する動きが強まっていると感じます。来年は市議選。市民の立場で市政をチェックする議会・議員のあり方が問われる年です。

### 日程 Schedule

2月定例会	
2/15(火) ……	議会運営委員会
16(水) ……	事前常任委員会
18(金) ……	開会
2/25(金)~3/1(火)	代表質問
3/1(火)午後 ……	共産代表質問(林じゅん) 請願・陳情締め切り
2(水)~ 8(火)	個人質問
9(水)~ 10(木)	常任委員会
14(月) ……	議会運営委員会
15(火) ……	閉会

### 議案に対する各会派の態度 For or against

賛否の分かれた主な議案・陳情	結果	一人会派												
		共産	自民新政	公明	自民政隆	自民市議団	創政	寺林	熊代	鬼木	下市	羽場	森山	
職員の一部金引き下げ条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市学力テスト学年拡大、児童館統廃合の補正予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
少人数学級	×	○	×	×	×	×	×	—	×	○	○	○	○	○
学校給食費無償化	×	○	×	×	×	×	×	—	×	○	○	○	○	○
学校トイレに生理用品常備	×	○	×	○	×	×	×	—	○	○	○	○	○	×
国に教育予算拡充を求める	×	○	×	×	×	×	×	—	×	○	×	○	○	○

○…賛成・採択 ×…反対・不採択  
—…欠席

党市議団は60議案中、職員の一部金引き下げと市学力テストの学年拡大などの予算の2件に反対しました。学校女子トイレに生理用品の常備を求める陳情は、委員会では採択されましたが、本会議では自民・創政などの反対で不採択。沖縄の遺骨混じり土砂を基地建設に使わないことと、国立病院の機能強化をそれぞれ国に求める陳情は、全会一致で採択され、意見書を国に送ることになりました。